

## 7. パートナーシップ型建替（下平間団地）記念誌の発刊

下平間団地建替推進委員会  
（神奈川県川崎市）

### I. 活動の背景と目的

下平間団地は、昭和27年から入居が開始された神奈川県住宅供給公社の賃貸住宅です。管理戸数318戸、敷地面積約2.2haという中規模の団地で、オープンしてから今年で48年目を迎えます。

公社から建替計画についてのご案内があったのは、1993年5月で、その時の住民アンケートでは3割が建替反対でした。自治会も3つに分かれ、店舗も2つの商店会があるという状況の中で、「建替対策委員会」を設置したことが、取り組みのスタートでした。その後、公社とはパートナーシップにより建替事業をすすめていくことを取り決め、「建替対策委員会」を「建替推進委員会」に改名し、公社とは「建替協議会」の場で合意形成を図っていくことにしました。そして、7年余の取り組みを経て、今年から第1期の工事が始まることになりました。

住民の思いはただ一つ。「希望するもの全てが戻れる建替」でしたが、それを実現するのに7年余の歳月と、何度となく繰り返される団地の総意としての“決断”でした。そして、この間には3自治会2商店会合同の夏祭りの開催、子供勉強会の立ち上げ、配食弁当の会の立ち上げ、環境整備グループの立ち上げ等、コミュニティ活動も始めて企画され取り組まれてきました。

工事着工となりましたが、再生団地のオープンまでにはまだまだ、多くの課題が残されています。しかし、一区切りついたこの時期に、膨大な量の資料をまとめ、今までの取り組みを検証していくことにより、計画されている建替対象団地の取り組みの参考にしてもらいたい。また、新たに入居する方々を迎えてスタートする再生団地自治会活動等に継続していくための資料としたい、という思いから建替記念誌の発行となりました。



開始された建替工事

### II. 活動内容

建替記念誌発行のために、編集委員会を発足し、次のような活動に取り組みました。

#### ①建替関連資料の整理

- ・“建替推進情報”（住民発行） No.1～93
- ・建替関連“自治会ニュース”
- ・合意のための関連資料
- ・公社提案資料

- ・居住者意向調査結果（第1次、第2次）
- ・自治会関連資料の整理

#### ②取り組みの経過整理

- ・一覧表の作成

#### ③居住者ヒアリング

- ・40年以上居住者へのヒアリング

#### ④団地内外への原稿公募

- ・コミュニティー活動グループへの原稿依頼
- ・居住者への公募
- ・地域関係者等への原稿依頼

#### ⑤版下の作成

### Ⅲ. 活動の効果及び今後の課題

#### ①活動の効果

約1年半に及ぶ編集委員会の活動により、ついに「建替記念誌」の発刊を迎えることが出来ました。6月には“発刊記念の集い”を開催し、関係方面への配布を予定しています。

今までの取り組み全体に関わって来なかった編集メンバーにも、共同作業を行ったことにより、経緯を含めて周知できた。

#### ②今後の課題

今までの取り組みについての整理は、記念誌発刊により終了するが、建替事業は一区切りついただけで、戻り入居が実現できるまでには、いくつかの課題が残されています。

借上県営住宅の実現、希望する住戸への入居、第2期工事の開始、配食サービス等福祉グループの活動のさらなる展開、第3期工事区域の計画への関わり等々、いくつかの課題が山積みしています。

これまでの活動を継続し、これらの課題に取り組むことが、新たな団地のコミュニティにつながっていくものと考えています。



記念誌編集委員会の様子